

4月 21日(火曜日)「ダビデ(12)王国の約束」

【新改訳 2017】

IIサムエル記7・1-29

「……さらに主はあなたに告げる。『主はあなたのために1つの家を造る。』……あなたが……眠るとき、わたしは、あなたの身から出る世継ぎの子を……起こし、彼の王国を確立させる。」(11、12節)

いよいよ驚くべきドラマの筋書きが見えてきました。生ける神の御手が動き、地上のダビデ王国の確立を約束されながら、「とこしえまで固く立つもう1つの王国」(13節参照)の約束が明言されたのです。

預言者ナタンを通してこの主の御告げを聞いたダビデは、驚天動地の心境で主の前で祈り、また、主を賛美しました。それが18節から29節です。ぜひ聖書(本文最初の聖句)を読んでみてください。

自ら取るに足りない者、一羊飼いの八男に過ぎない者に、こんな祝福が告げられるとは……彼は驚きとうれしさで涙にむせびつつ、この賛美の祈りを祈ったことでしょう。「あなたの祝福によって……祝福されたのです」(29節参照)彼は神の祝福を知っていました。

～祈り～

主よ。あなたは一千年も前に、永遠の王国について啓示を与え、その予

言の通りメシヤ(キリスト)王国を来たらせてくださったことを心から感謝いたします。

【学びのために】

ダビデ王朝を通して、やがて来たるべきメシヤ王国の預言が重ね合わせに語られていることに注意して読みましょう。「彼はわたしの名のために一つの家を建て、わたしはその王国の王座をとこしえまでも堅く立てる。」(13節)